

角型TACレックスの敷設・接続 目次

0. 運搬及び保管	1
1. ハンドホール接続	2
1-1. レジンエコブロックベルマウスを使用する方法	2
1-1-1. レジンエコブロックベルマウスの取付方法	3
A. 既設のハンドホールに取り付ける場合	3
B. 現場打ちハンドホールに取り付ける場合	7
1-1-2. レジンエコブロックベルマウスとの接続方法	10
1-2. ロングベルマウスを使用する方法	12
1-2-1. ロングベルマウスの取付方法	12
1-2-2. ロングベルマウスとの接続方法	14
2. 延長・長さ調整	16
2-1. 定尺管同士の接続方法	16
2-2. 長さ調整	18
2-2-1. 製品のカット方法	18
2-2-2. 差込オス継手を使用する方法	19
2-2-3. 差込フリー継手・継手を使用する方法	21
3. 異種管接続	25
3-1. CCVP・ECVP と接続する場合	25
3-2. TAC レックス・鋼管・塩ビ管と接続する場合	27
(TACレックス形状に変換し、TACレックス用部品を使用)	
A. 差口部で接続する場合 異種管用アダプター(φ50～φ100)	27
B. カット部で接続する場合 差込異種管アダプター(50～φ100)	29
異種管アダプター (φ130・φ150)	30
4. 施工動画紹介	32

4-1. 角型 TAC レックスの施工動画(2026 年版)

4-1. ショート動画(上記分割版)

「管の接続」・「管路の長さ調整」・「管のカット方法」・「差込オス継手/全サイズ」・
差込フリー継手/φ50-φ100 ・ 継手 K-J/φ130-φ150・

動画はこちら→



0. 運搬および保管

0-1. 運搬

角型 TAC レックスを取り扱う際は、下記の点に十分注意して行ってください。

- ⚠ 管を投げ落とさないでください。
- ⚠ 管を引きずらないでください。
- ⚠ トラック等で運搬するときは、荷崩れが生じない様な処置を施してください。

0-2. 保管

角型 TAC レックス及び部品を保管する場合は、下記の点に十分注意して行ってください。

管

- 平坦な場所に保管してください。
- 保管中に土砂等の浸入がない様に、両端のカバーは使用するまで取り外さないでください。
- 積み重ねる場合は荷崩れ等がない様に注意してください。

部品

- 炎天下において高温になると変形等が発生する可能性がありますので、継手部品等は、直射日光を避け、倉庫等に保管してください。
- 箱は、積み重ねしないでください。
- 部品に強い衝撃を加えると破損する恐れがありますので、取り扱いに注意してください。
- 水膨潤性不織布を使用している継手(差込オス継手)は、袋に穴が開くと空気中の水分を吸収して膨潤し、使用できなくなりますので取り扱いに注意してください。

1. ハンドホール接続

(特殊部接続)

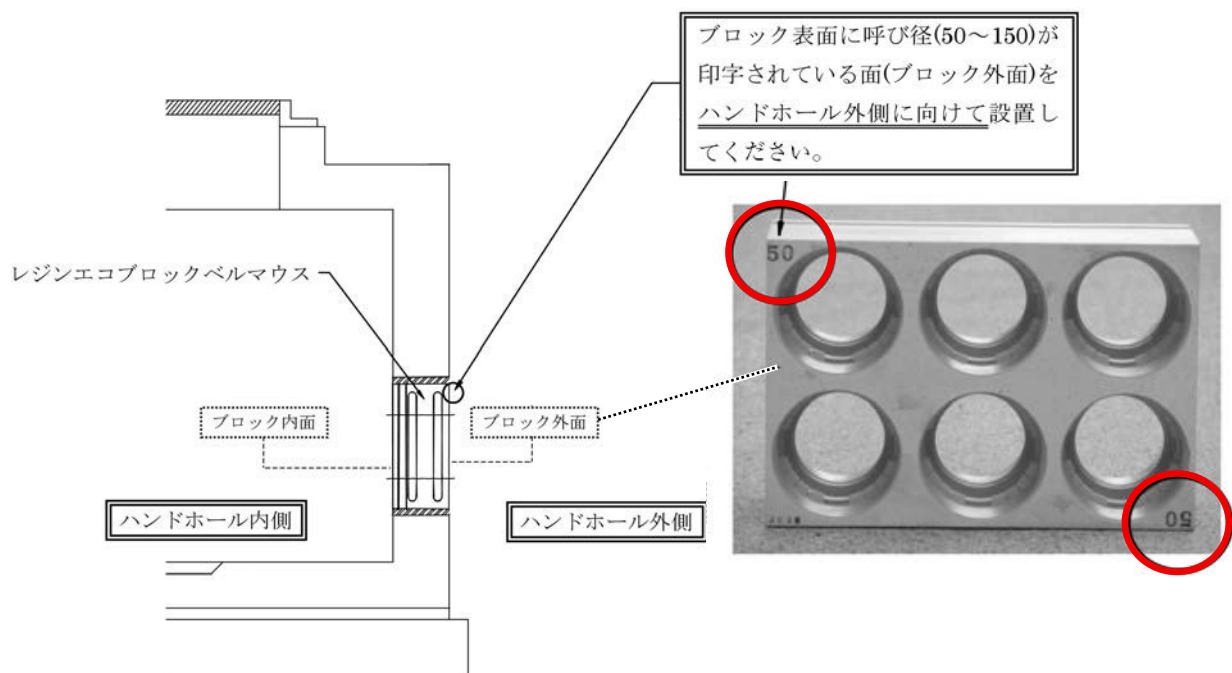
1
特
殊
部
接
続

1—1. レジンエコブロックベルマウスを使用する方法

レジンエコブロックベルマウス開梱時に、本体の割れ・欠けおよび、管の挿入部の抜け止め（ツメ）の折れが無いのか、ご確認ください。

使用前の注意事項

- ⚠ 落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。
- ⚠ 管の挿入部の抜け止め（ツメ）に負荷をかけないでください。破損の恐れがあります。
- ⚠ 設置の際は、ブロックの向きに注意してください。（※詳細については下図を参照ください）
- ⚠ 内面・外面および管の挿入部には、異物が浸入・付着しないよう注意してください。
一旦管を挿入すると抜けませんので、注意してください。

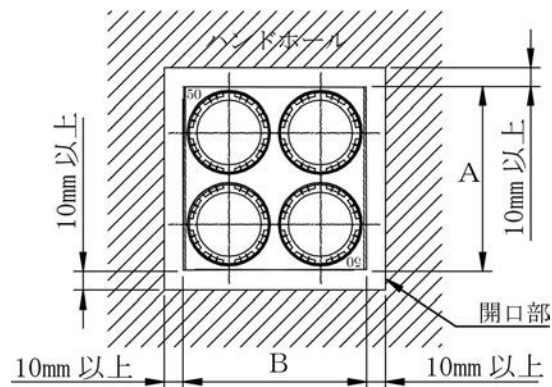


1-1-1. レジンエコブロックベルマウスの取付方法

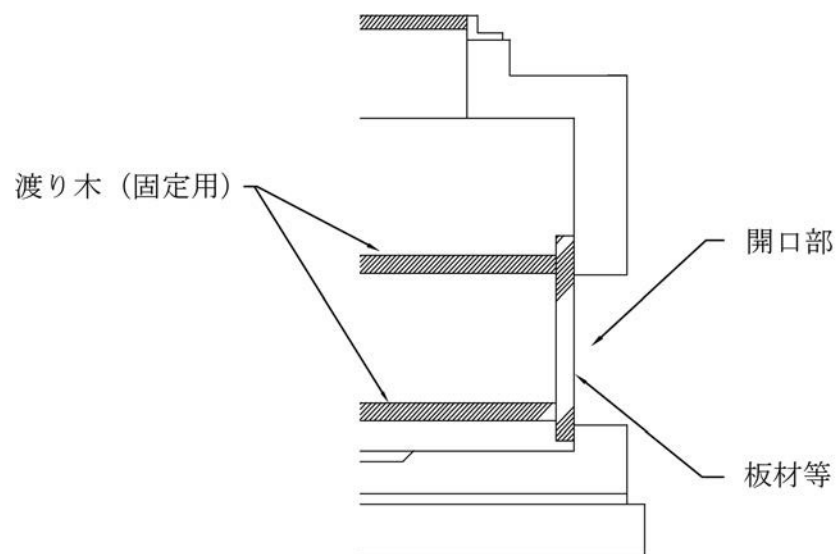
A. 既製のハンドホールに取り付ける場合

- ⚠ レジンエコブロックベルマウス本体に欠け・割れ等が無いことを確認してください。
- ⚠ レジンエコブロックベルマウスの管の挿入部の抜け止め（ツメ）が折れていない事を確認してください。
- ⚠ レジンエコブロックベルマウス内面、外面および管の挿入部にパテや異物が侵入・付着しないように注意してください。
- ⚠ レジンエコブロックベルマウスは、角型 TAC レックスを一旦挿入すると、抜けない構造になっていますので、注意してください。

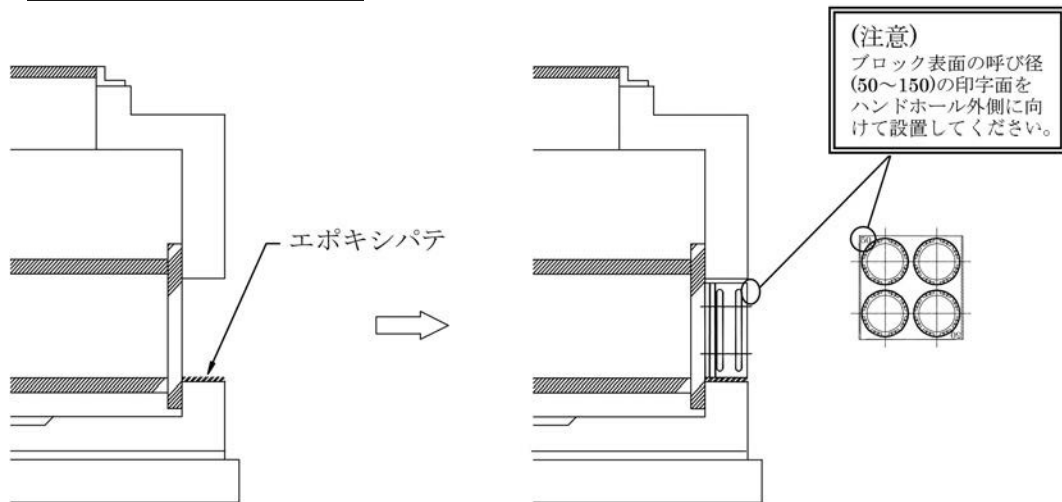
- 1) 下図を参考に、ハンドホール壁面に、レジンエコブロックベルマウス（A×B）に合う大きさの開口部を設けてください。



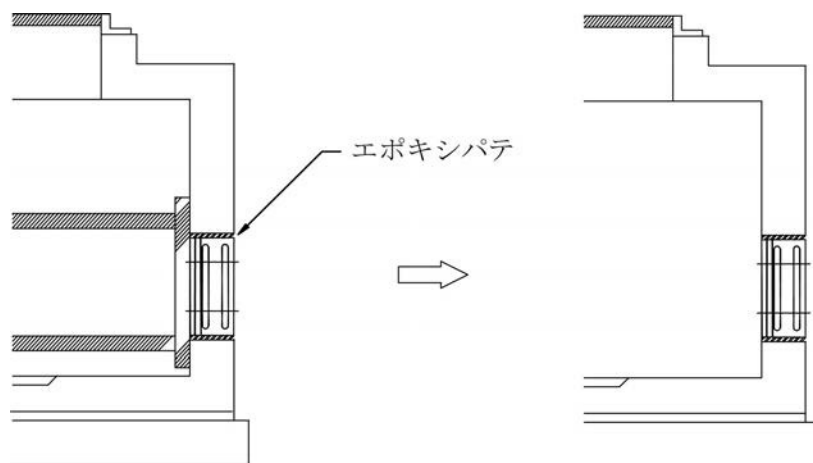
- 2) ハンドホール内側に板材等でふたをし、渡り木等で固定してください。



- 3) ハンドホール開口部については、エポキシパテの接着を阻害するような粉や異物をあらかじめ取り除いてください。
- 4) 開口部の底面にエポキシパテを盛り、その上にレジンエコブロックベルマウスを設置してください。この時、ブロックの向きに注意してください。(ブロック表面に呼び径が印字されている面をハンドホール外側に向けて設置してください。)



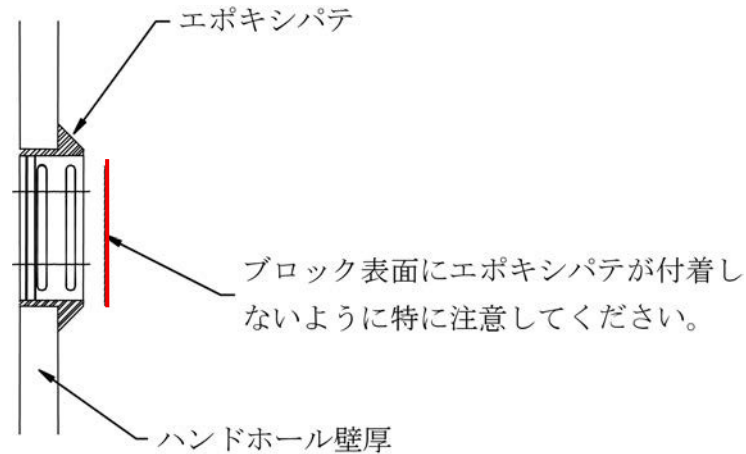
- 5) レジンエコブロックベルマウスとハンドホールとの隙間に、エポキシパテを充填し、固定してください。(必要に応じてスペーサー(木片等)を用いて固定してください。)
その際、ブロック内面、外面および管の挿入部にエポキシパテが付着しないようにしてください。
付着した状態で角型TACレックス本体を接続すると、水密性及び管の接続に不具合が生じる恐れがあります。
尚、レジンエコブロックベルマウスを取り付ける際には、ブロックの表面にガムテープ等でマスキングすると、パテ等の付着を防ぐ事が出来ます。



◎レジンエコブロックベルマウスのブロック厚とハンドホールの壁厚が一致しない場合や、ブロック同士を重ねて使用する場合は、次の点に注意してください。

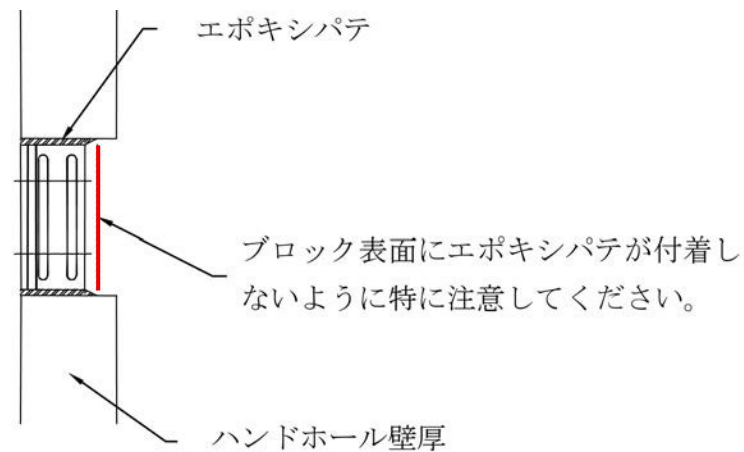
①壁厚が薄い場合（ハンドホールのノックアウト部に取り付ける場合など）

レジンエコブロックベルマウスの露出した部分が損傷する恐れがありますので、下図のようにエポキシパテを盛るように仕上げてください。その際、エポキシパテがブロック表面に付着しないよう、特に注意してください。



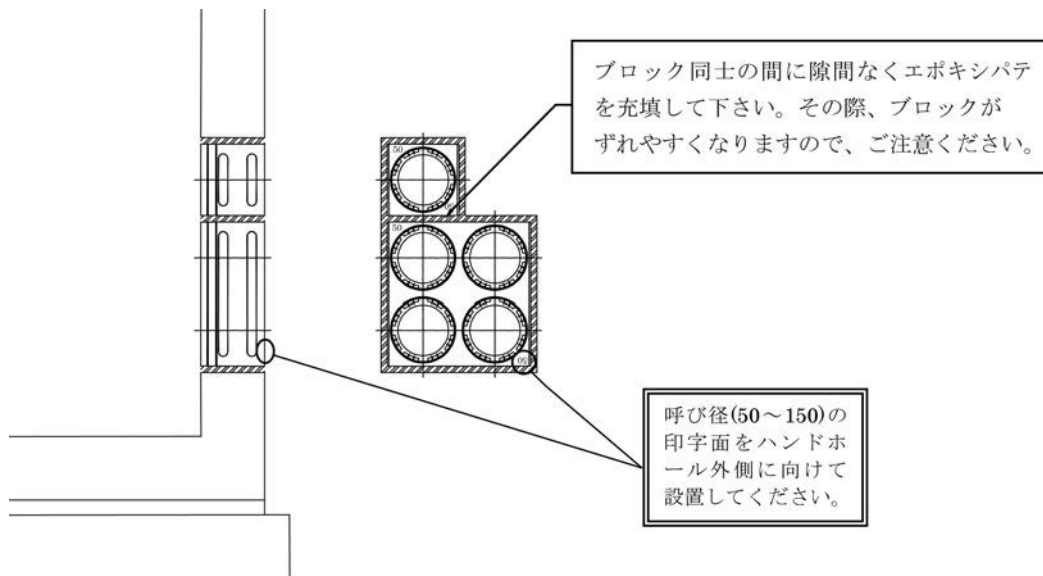
②壁厚が厚い場合

レジンエコブロックベルマウスとハンドホールとの隙間を、エポキシパテで充填しますが、下図のようにブロック表面に付着しないよう、特に注意してください。表面にエポキシパテが付着していると、角型 TAC レックス本体との接続や接続後の水密性に不具合が生じる恐れがあります。



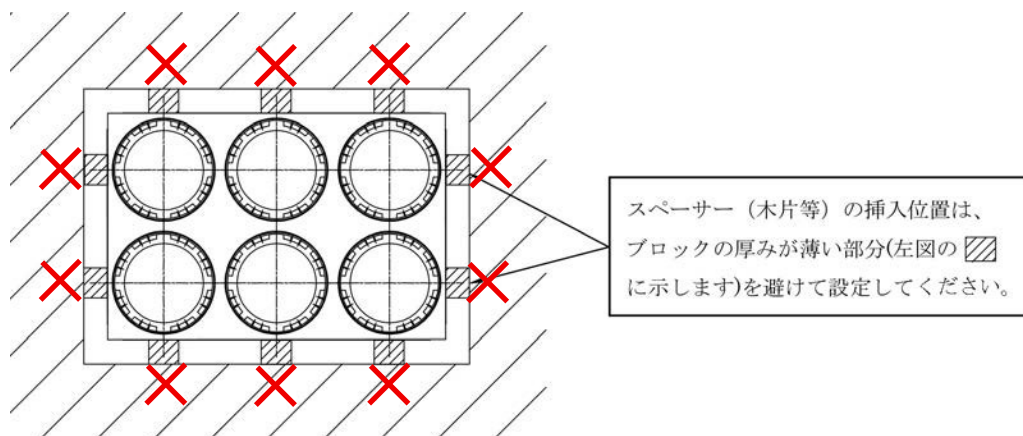
③レジンエコブロックベルマウスを重ねて使用する場合

ブロックを重ねて使用する場合は、ブロック同士の間に隙間なくエポキシパテを充填してください。エポキシパテの充填が不十分で隙間がある場合、水密性を損なう恐れがありますので注意してください。また、ブロックの向きにも注意してください。



④開口部にスペーサー（木片等）で固定する場合

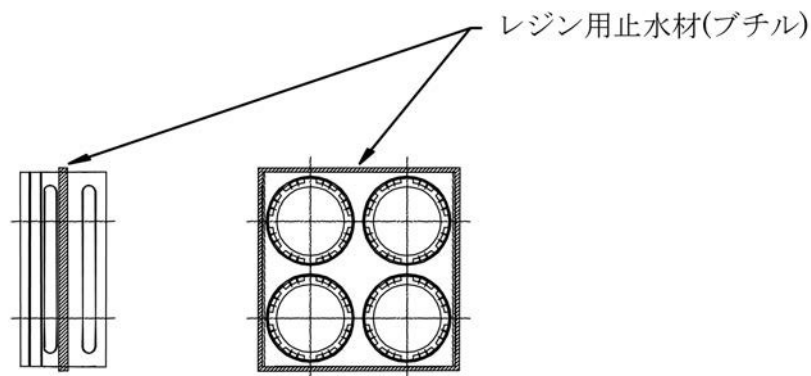
取り付けの際に事前に開口部に固定する場合には、ブロックに無理な力が加わらないように注意してください。また、スペーサー（木片等）の挿入位置は、ブロックの厚みが薄い部分(左図の斜線に示します)を避けて設定してください。



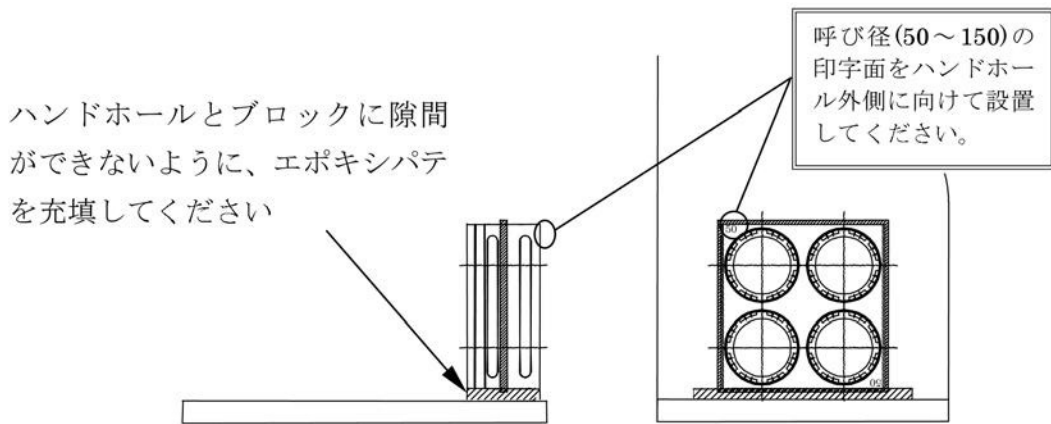
B. 現場打ちハンドホールに取り付ける場合（トンネル監査廊部などでブロック厚とハンドホール壁厚が同じ場合）

- ⚠ レジンエコブロックベルマウス本体に欠け・割れ等が無いことを確認してください。
- ⚠ レジンエコブロックベルマウスの管の挿入部の抜け止め（ツメ）が折れていない事を確認してください。
- ⚠ レジンエコブロックベルマウス内面、外面および管の挿入部にパテや異物が侵入・付着しないように注意してください。
- ⚠ レジンエコブロックベルマウスは、角型 TAC レックスを一旦挿入すると、抜けない構造になっていますので、注意してください。

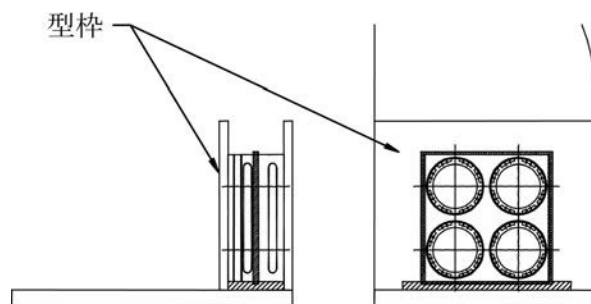
- 1) ハンドホール底面の継ぎ目については、付着物の除去等あらかじめ対策を施してください。
- 2) レジンエコブロックベルマウスの全周に、切れ目なくレジン用止水材（ブチル）を巻きつけてください。この時、巻きつけたレジン用止水材（ブチル）とブロックに隙間がないように十分押し付ける等して馴染ませてください。隙間があると水密性を損なう恐れがありますので注意してください。



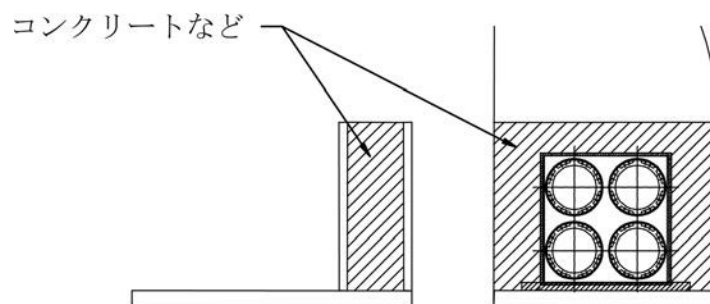
- 3) あらかじめレジン用止水材（ブチル）を巻きつけておいたレジンエコブロックベルマウスを、所定の位置に設置します。この時、ハンドホールとブロックに隙間ができないように、エポキシパテやモルタルを充填してください。
ブロック同士を重ねて使用される場合は、ブロック同士の間に隙間なくエポキシパテを充填してください。
エポキシパテの充填が不十分で隙間がある場合、水密性を損なう恐れがありますので注意してください。また、ブロックの向きにも注意してください。



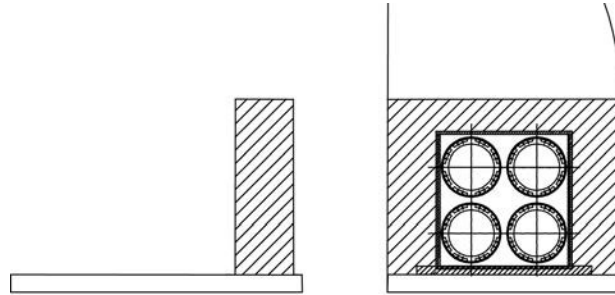
- 4) レジンエコブロックベルマウスを挟み込むように型枠を設置します。型枠とブロック表面との間に隙間が出来ないように注意してください。（状況に応じて、ブロックにマスキング等を施して、ノロの侵入を防止する措置を取ってください。）また、コンクリート等の打設中に、ブロックが動いたりしないような措置を取ってください。



- 5) コンクリート・モルタルなどを打設します。一気に打設したり、過度に振動をかけたりすると、型枠の隙間からノロ等が浸入する恐れがありますので、注意してください。

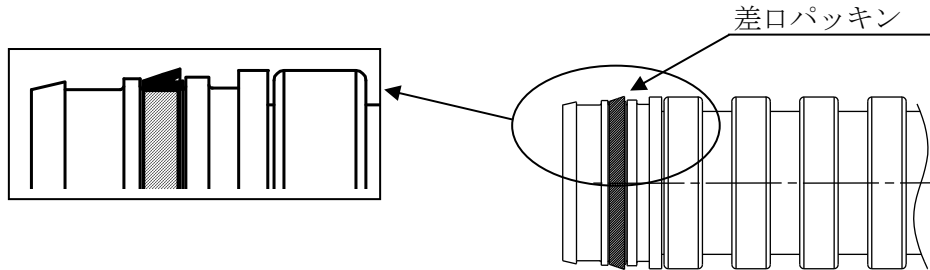


- 6) 打設が終了し、養生時間が経過したら、型枠を解体します。この時、レジネコブロックベルマウス内面、外面および管の挿入部に異物が浸入・付着していないか確認してください。浸入・付着等があった場合は、ヘラ等を用いて異物を取り除いてください。ただし、ブロック損傷の恐れがありますので、過度な衝撃を加えないでください。

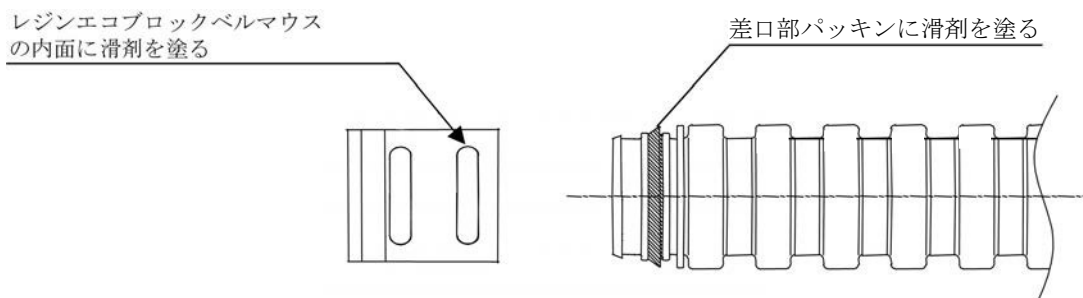


1-1-2. レジンエコブロックベルマウスとの接続手順

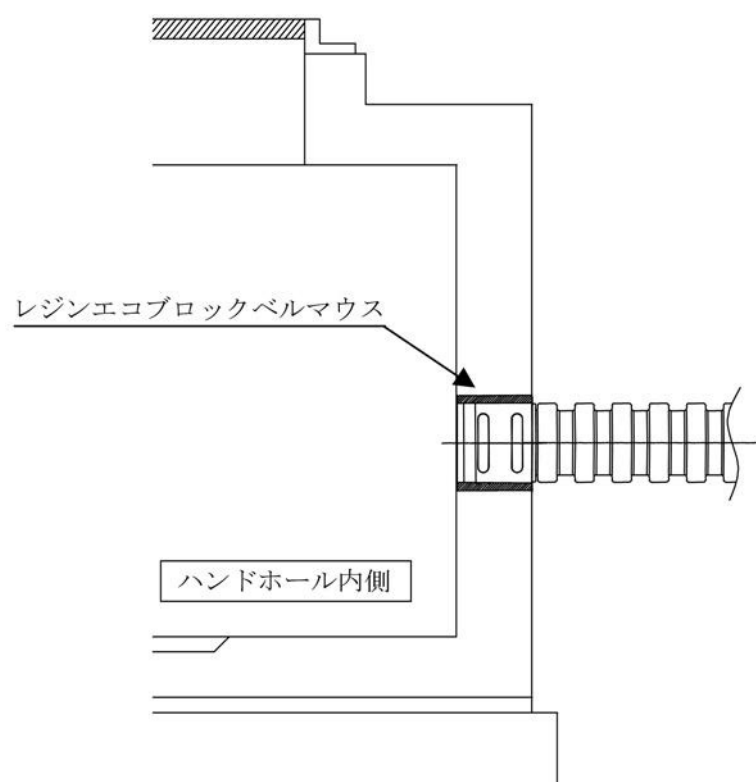
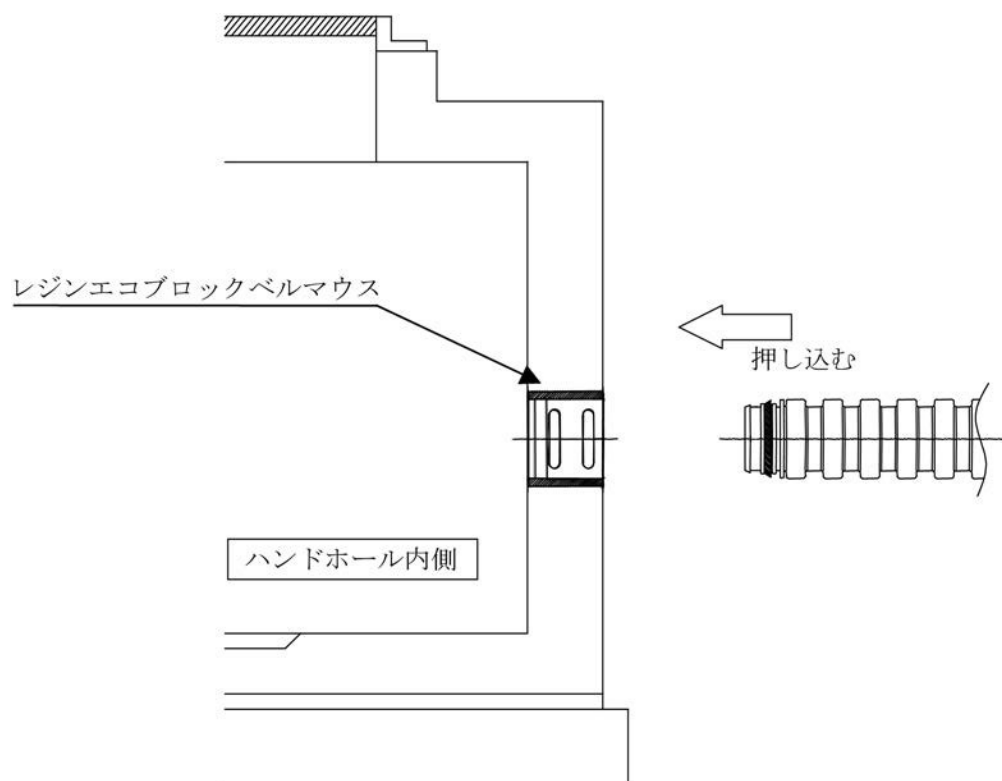
- 1) 角型TACレックスの差口パッキンがきちんと所定の位置に付いているかを確認してください。



- 2) 差口パッキンとレジンエコブロックベルマウス内側についた砂、ゴミをウエス等できれいに拭き取ってください。
- 3) 差口パッキンおよびレジンエコブロックベルマウス内側の全周に滑剤を塗布してください。



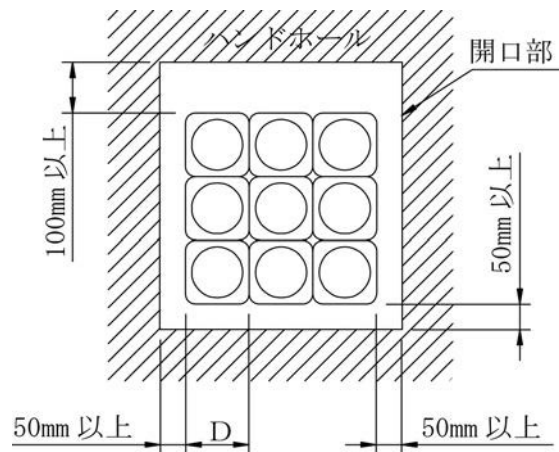
- 4) 差口パッキンに砂や埃がつかないように注意しながら、角型TACレックスの差口をレジンエコブロックベルマウスにしっかりと押し込んでください。挿入具合がかたい場合は、管を斜めから挿入し、上下左右に振りながら押し込んでください。その後引張って抜けないことを確認してください。



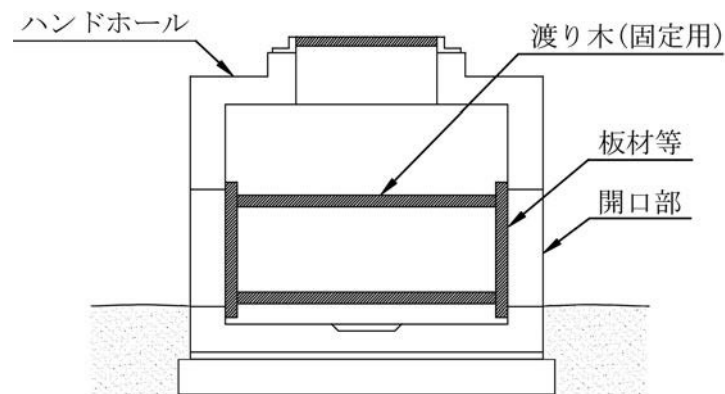
1-2. ロングベルマウスを使用する方法

1-2-1. ロングベルマウスの取付方法

1) 下図を参考に、所定の大きさの孔（開口部）をハンドホールに開けてください。



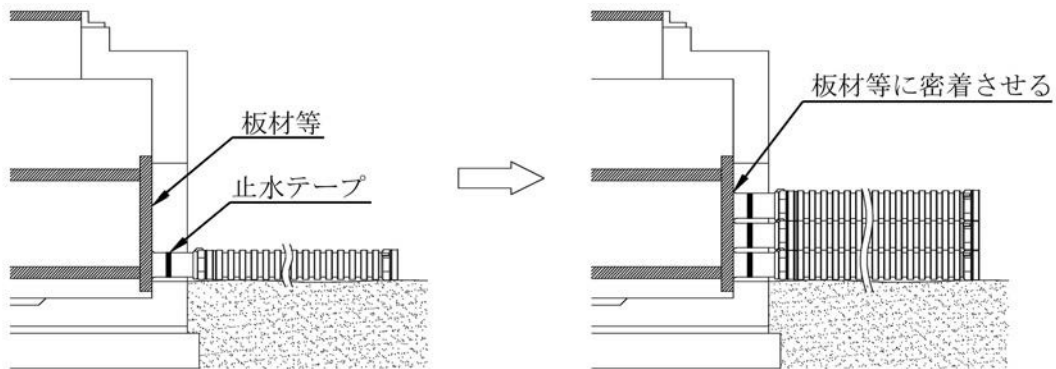
2) ハンドホール内側より開口部に板材等でふたをし、渡り木等で固定してください。



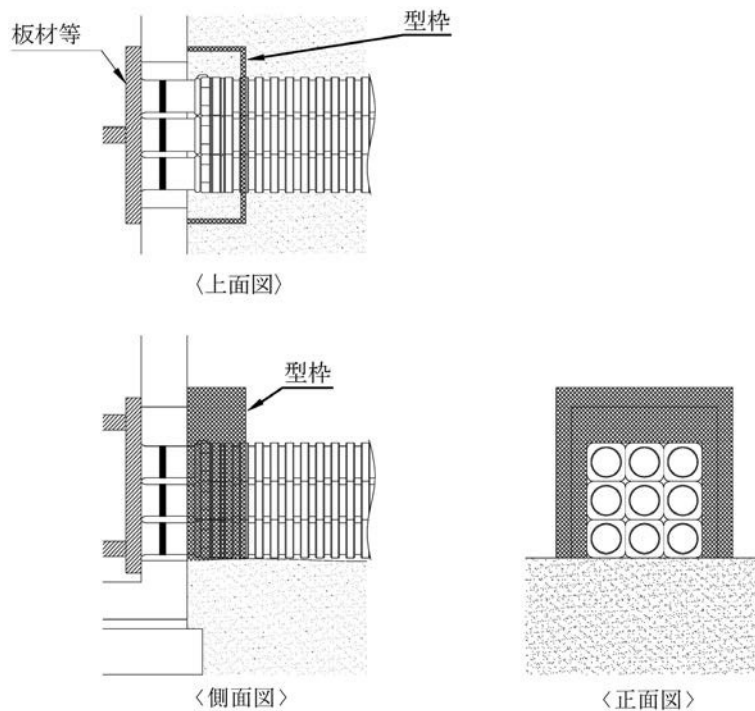
3) 角型TACレックスにロングベルマウスを接続してください。

(接続手順は、後記ロングベルマウスの接続手順にて行ってください。)

- 4) ロングベルマウスに巻いている止水テープの離型紙を剥がし、ハンドホールの開口部に固定させてください。このとき、ロングベルマウスを板材等に密着させて固定させてください（反対側のハンドホールも同様にロングベルマウスを固定させてください）。

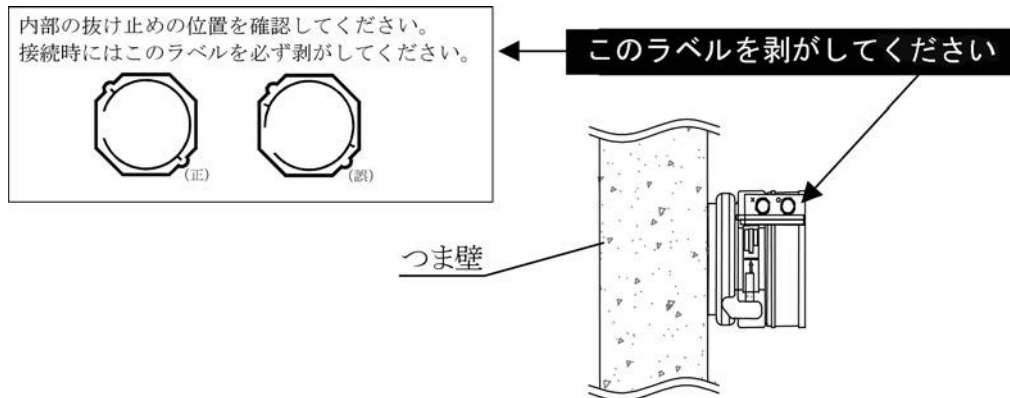


- 5) モルタル用の型枠を組み、モルタルを流し込みロングベルマウスを固定させてください。

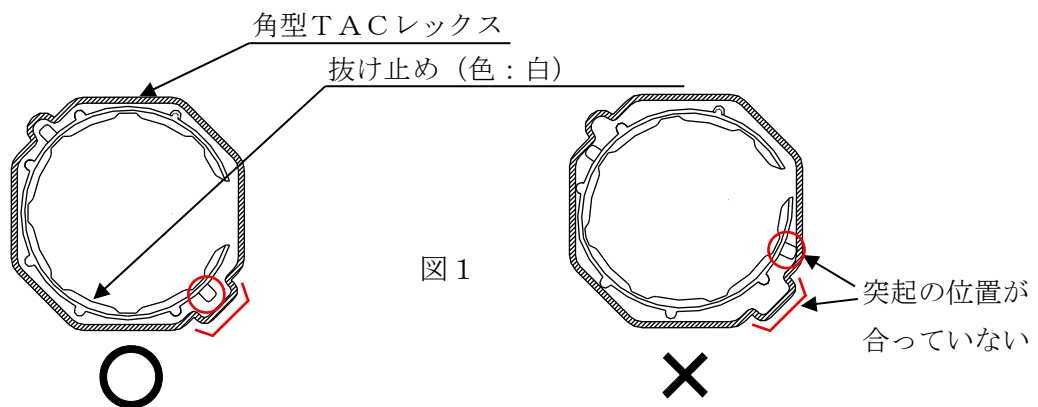


1—2—2. ロングベルマウスとの接続手順

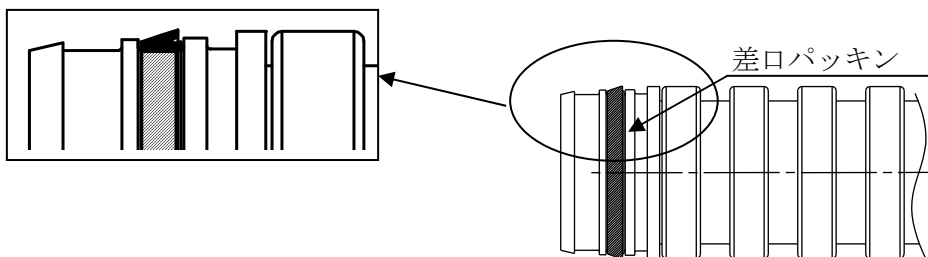
- 1) ロングベルマウスの受口内部の抜け止めを止めているラベルを剥がしてください。



- 2) ロングベルマウスの受口内部の抜け止めがきちんと所定の位置に入っているかを確認してください。

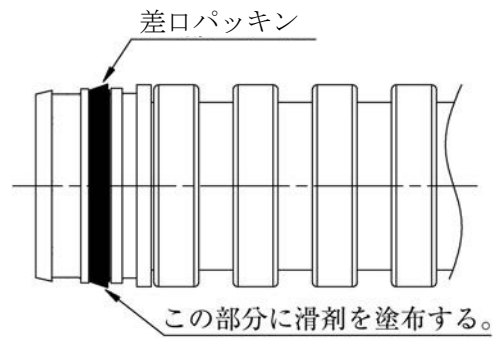


- 3) 差口パッキンがきちんと所定の位置に付いているかを確認してください。

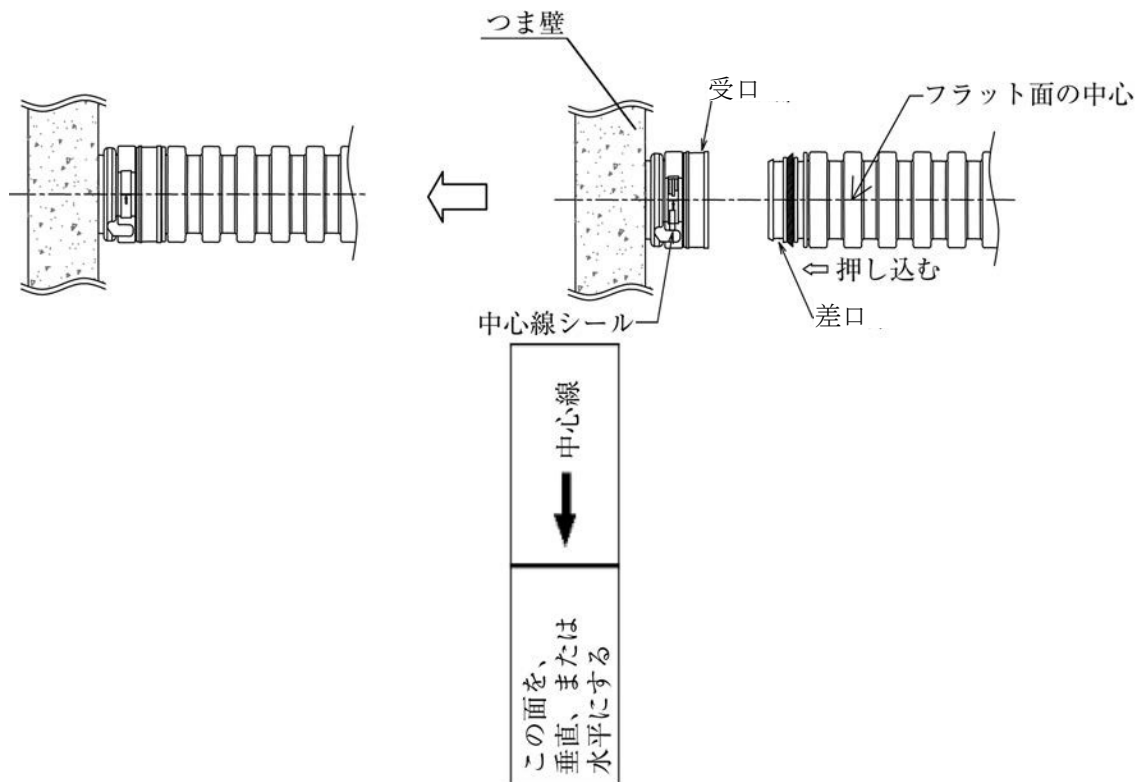


- 4) 差口パッキンと受口内側についた砂、ゴミをウエス等できれいに拭き取ってください。

- 5) 差口パッキンおよび受口内側の全周に滑剤を塗布してください。



- 6) 差口パッキンに砂や埃がつかないように注意し、角型TACレックスのフラット面の中心を、ロングベルマウスの受口に貼っている中心線シールに合わせ、差口を受口にしっかりと押し込んでください。このとき斜めにならないように注意しながら、「カチッ」と音がするまで押し込み、その後引張って抜けないことを確認してください。



2. 延長・長さ調整

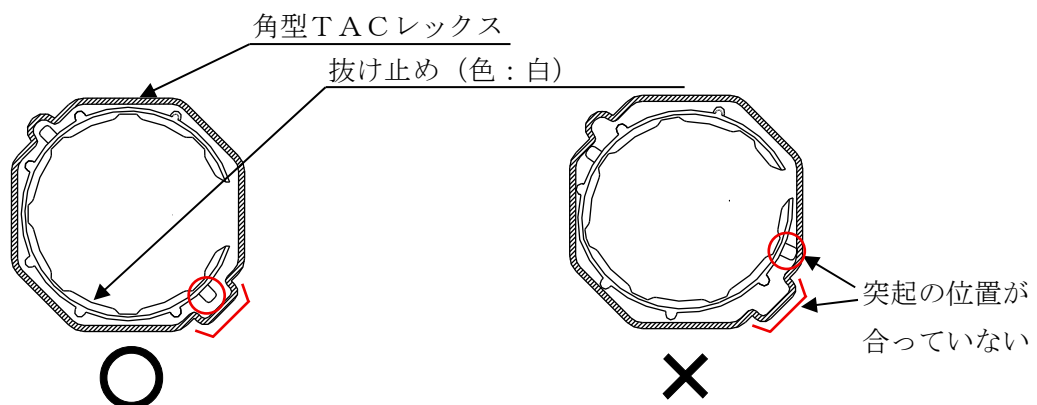
使用工具・資材一覧

工 具 名	備 考
電動ドライバー（＋）	トルク調整機能付
カッターナイフ	市販品
ノコギリ	市販品
測定工具（コンベックス他）	市販品
φ130、150 用カット治具	販売
管路導通試験棒一式	販売
ホース（ノズル）	市販品
ウエス	市販品
滑剤、ハケ（ブラシ）	TAC ソープ他
結束ひも	販売（市販品も可）、荷造り用
入線工具（ロッド棒他）	市販品
ロープ	市販品

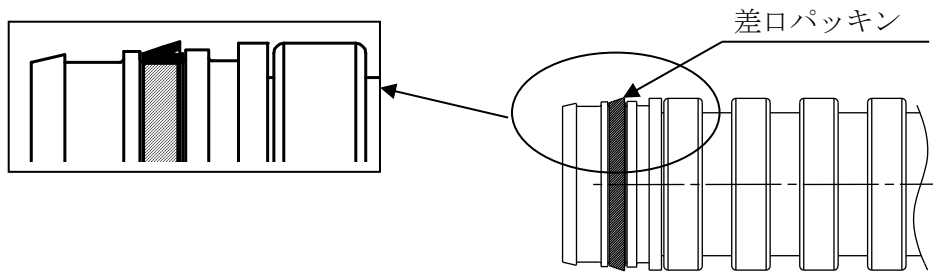
2-1. 定尺管同士の接続方法

注）管内に土砂が入らないように施工してください。

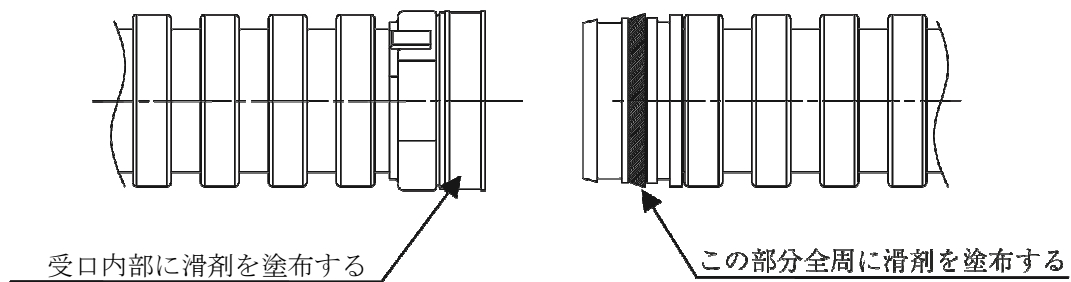
- 1) 差口パッキンと受口内側についた砂、ゴミをウエス等できれいに拭き取ってください。
- 2) 受口内部の抜け止めがきちんと所定の位置に入っているかを確認してください。



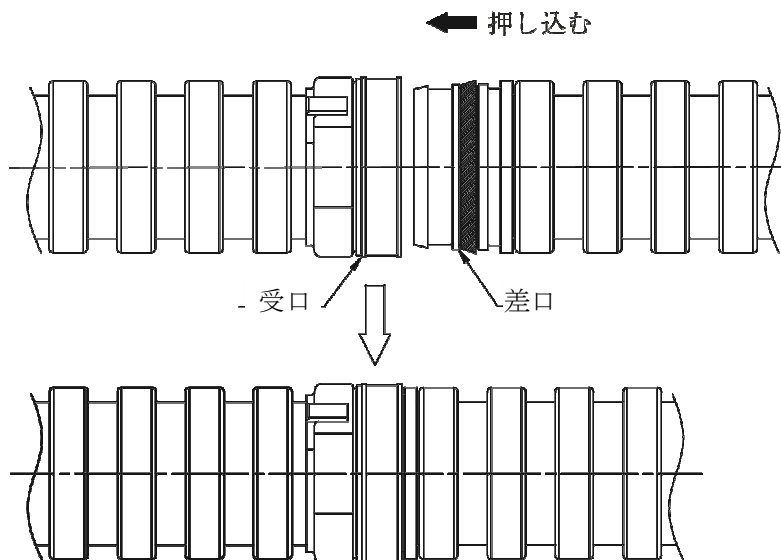
- 3) 差口パッキンがきちんと所定の位置に付いているかを確認してください。



- 4) 差口パッキンと受口内側の全周に滑剤を塗布してください。



- 5) 挿入は一人が受口を固定し、もう一人がパッキンに砂や埃がつかないように注意して差口を押し込んでください。このとき、斜めにならないようにし、「カチッ」と音がするまで押し込み、引張って抜けないことを確認してください。



2-2. 長さ調整

角型 TAC レックスは有効長 5.25m で、両端差込継手一体型となっており、ほとんどの場合、本管カットを伴う長さ調整が必要です。

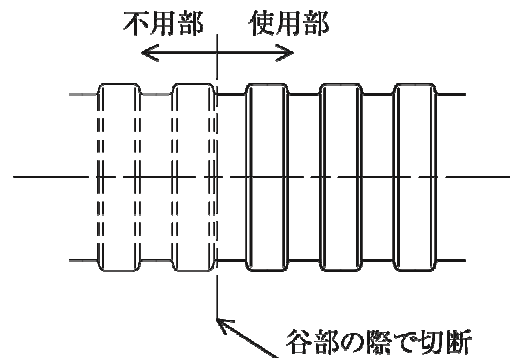
2-2-1. 製品のカット方法（全部品共通です）

動画はこちら→

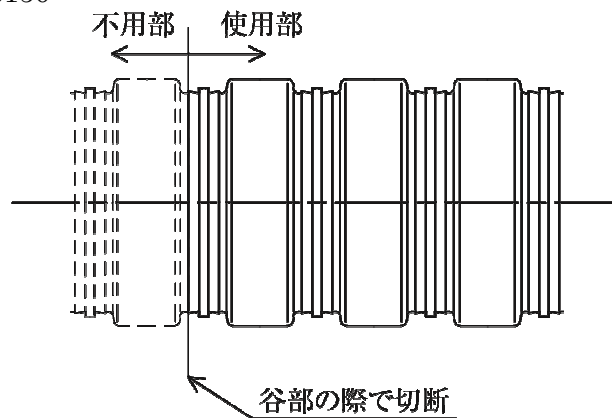


- 1) 管の切断（詳細）角型 TAC レックスの谷部を残すように、谷部の際をノコギリや電動工具等を用いて切断してください。

・φ50～φ100

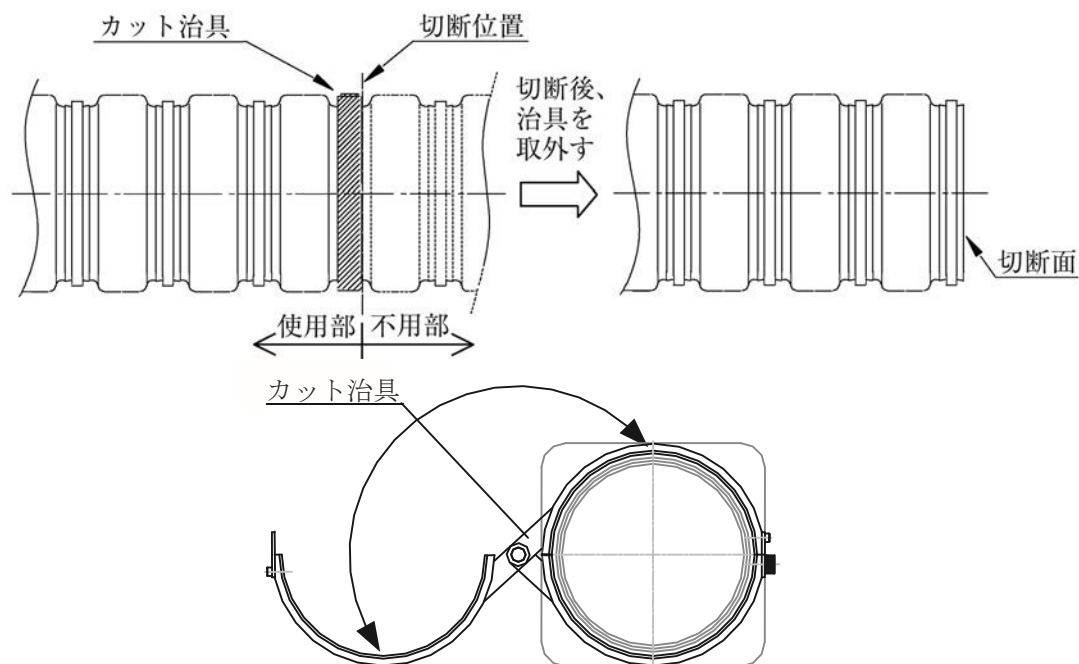


・φ130、φ150



※カット治具を使用の場合

カット治具を取り付け、下図の切断位置でノコギリ等を用いて切断し、カッター等でバリを取り除いてください。



長さ調整用として下表の継手類を使用してください。

	差込オス継手	差込フリー継手	継手
$\phi 50 \sim \phi 100$	●	●	—
$\phi 130$ 、 $\phi 150$	●	—	●

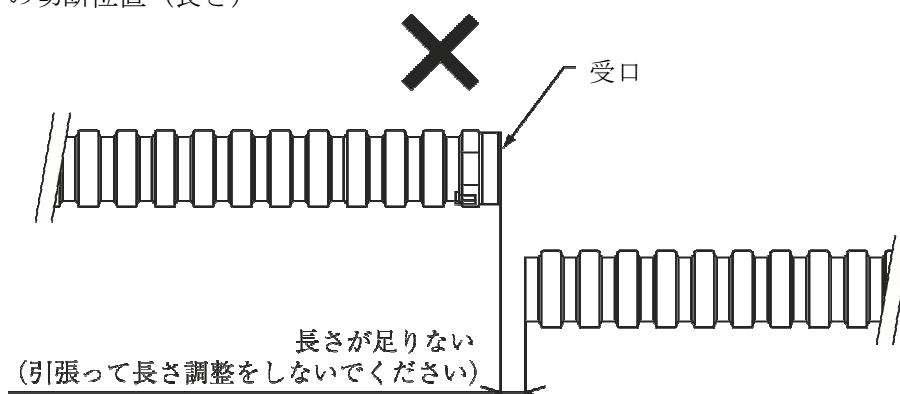
2-2-2. 差込オス継手を使用する場合（全サイズ） 動画はこちら→

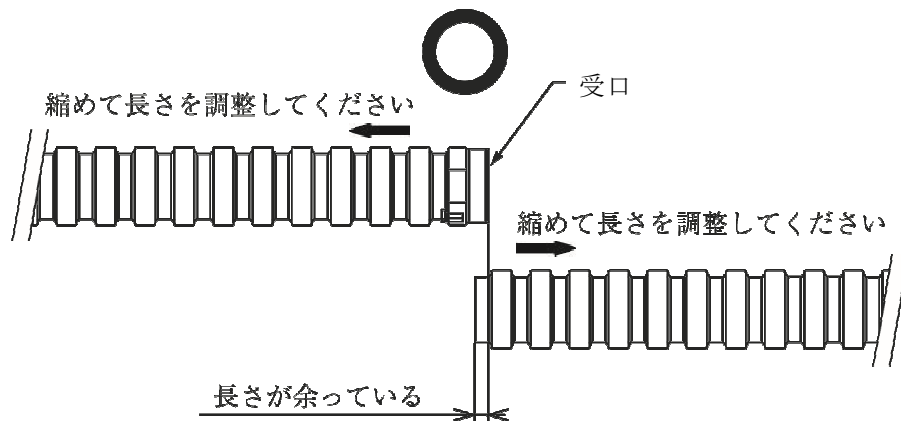


両端のハンドホールから接続した角型TACレックスが、定尺（差込継手部）で接続できなくなったら、片側の受口を残し、他方を管の谷部で切断して差込オス継手を用いて接続してください。接続する際、管の長さが足りないと接続できません。（管の長さが足りない場合、管を引張って継手を接続すると、継手部に無理な力がかかります。）

したがって、1 ピッチ弱の長さが余るように角型TACレックスを切断し、管を図の矢印の方向に縮めてください。

1) 管の切断位置（長さ）





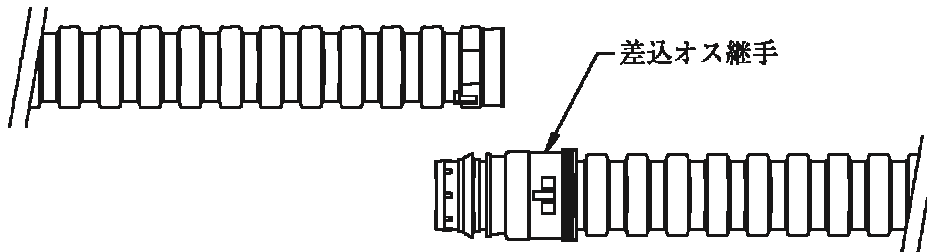
2) 管の切断（詳細）

角型 TAC レックスの谷部を残すように、谷部の際をノコギリや電動工具等を用いて切断してください。

「2-2-1. 製品のカット方法」参照

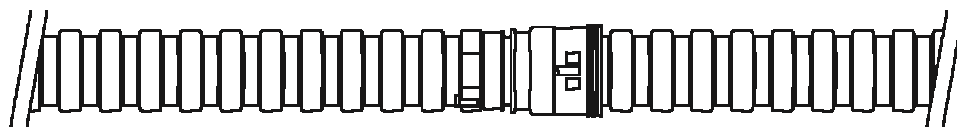
3) 接続

①切断した方の管に、差込オス継手本体を差込み、引張って抜けないことを確認してください。



②差込オス継手パッキン、および受口内部の全周に滑剤を塗布してください。

③挿入は二人で拌み合わせる要領で、「カチッ」と音がするまで押込み、引張って抜けないことを確認してください。



⚠ 差込オス継手の使用上の注意事項。

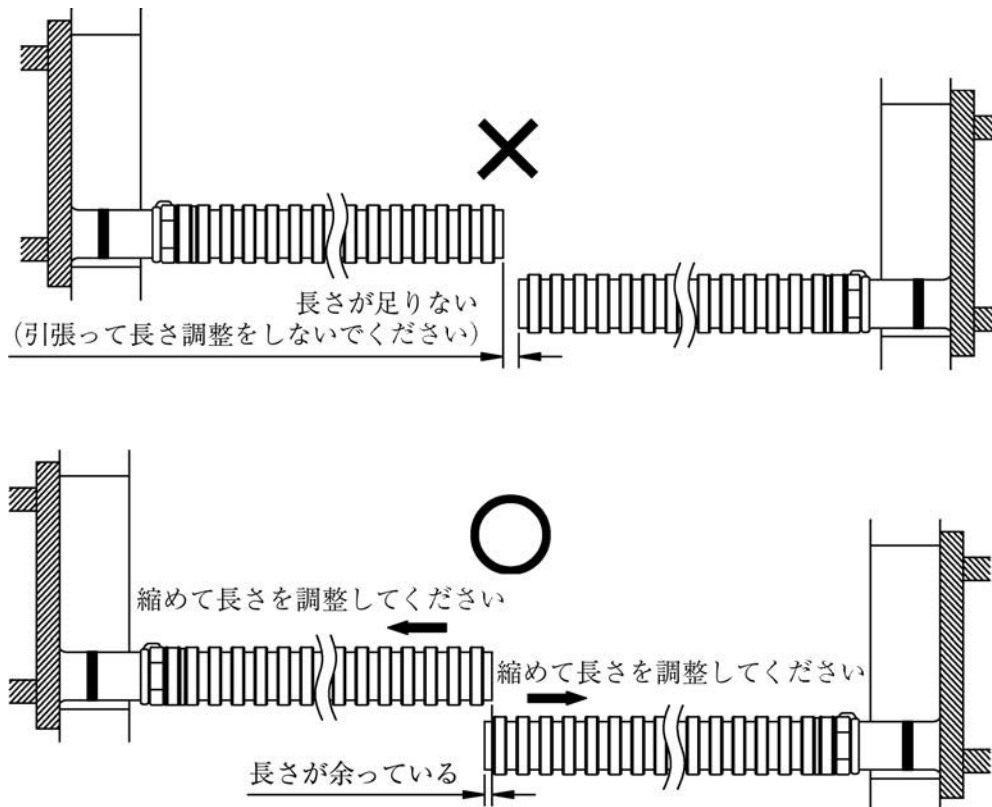
1. レジンエコブロックベルマウスに挿入することはできません。
2. 短いスパン長 (L=6~7m 以下) のときは、使用することができません。

2-2-3. 差込フリー継手、継手(K-J)を使用する場合

両端のハンドホールから接続した角型TACレックスが、定尺（差込継手部）で接続できなくなったら、両管の受口部を切断して、継手類（差込フリー継手、継手）を用いて接続してください。接続する際、管の長さが足りないと接続できません。（管の長さが足りない場合、管を引張って継手を接続すると、継手部に無理な力がかかります。）

したがって、1 ピッチ弱の長さが余るように角型TACレックスを切断し、管を図の矢印の方向に縮めてください。

1) 管の切断位置（長さ）



2) 管の切断（詳細）

角型TACレックスの谷部を残すように、谷部の際をノコギリ等を用いて切断し、カッター等でバリを取り除いてください。

「2-2-1. 製品のカット方法」参照

動画はこちら→



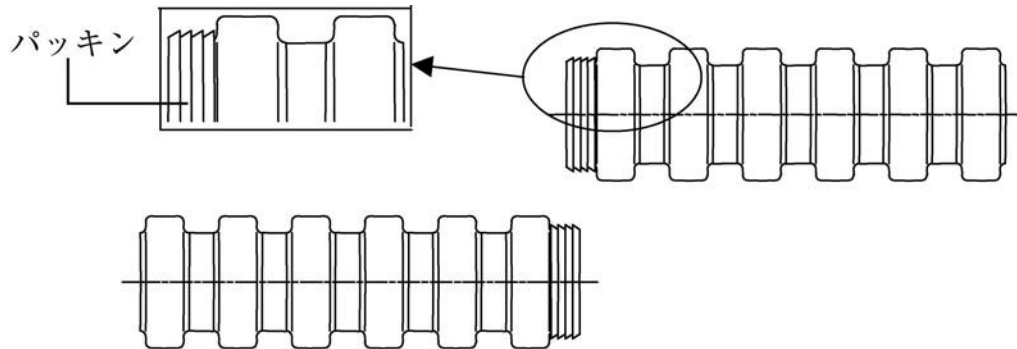
3) 接続

① 差込フリー継手 (φ50~φ100)

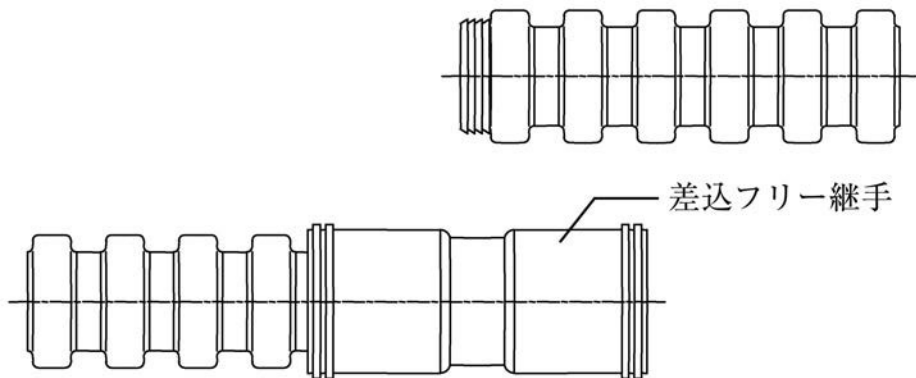
動画はこちら→



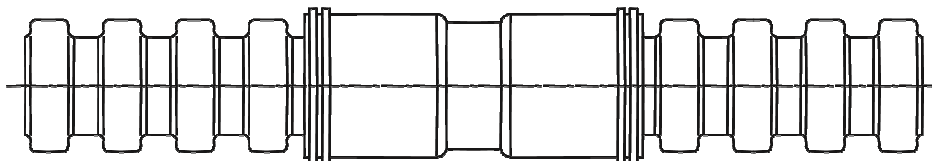
- 1) 角型TACレックスの谷部に、パッキンを装着します。この時、下図のようにパッキンの向きに注意してください。



- 2) 一方の管を差込フリー継手本体に差込めなくなるまで差込み、引張って抜けないことを確認してください。



- 3) もう一方の管を差込み、引張って抜けないことを確認してください。



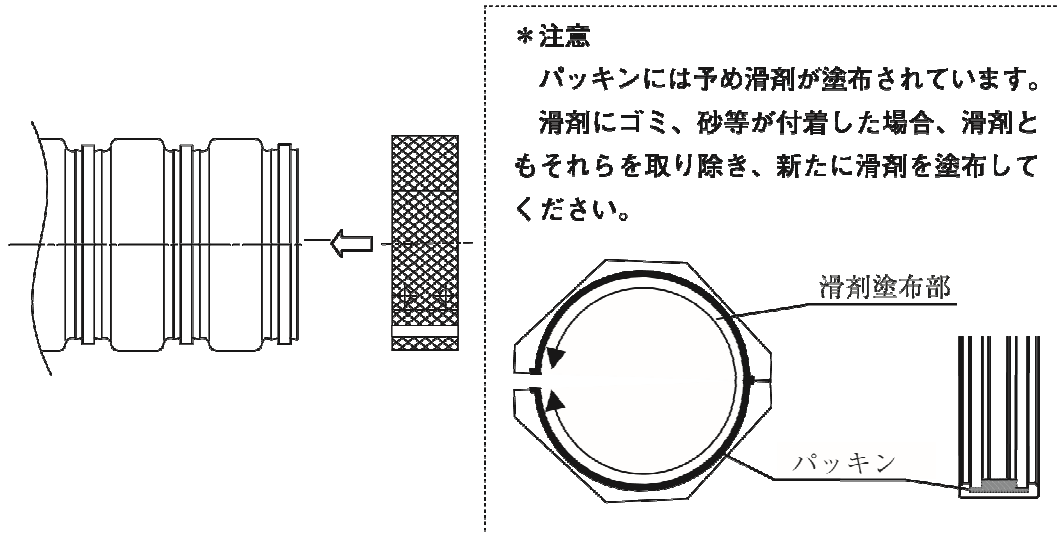
⚠ 差込フリー継手に定尺管の差口を差込んで使用しないでください。

②継手(K-J) (φ130、φ150)

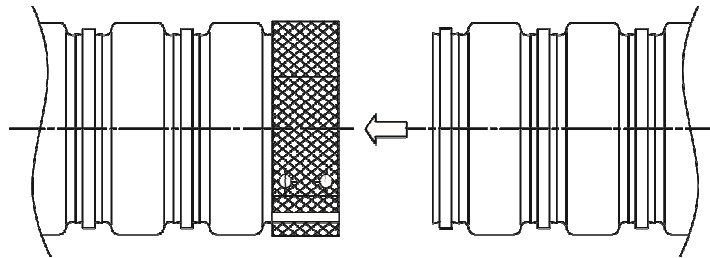
動画はこちら→



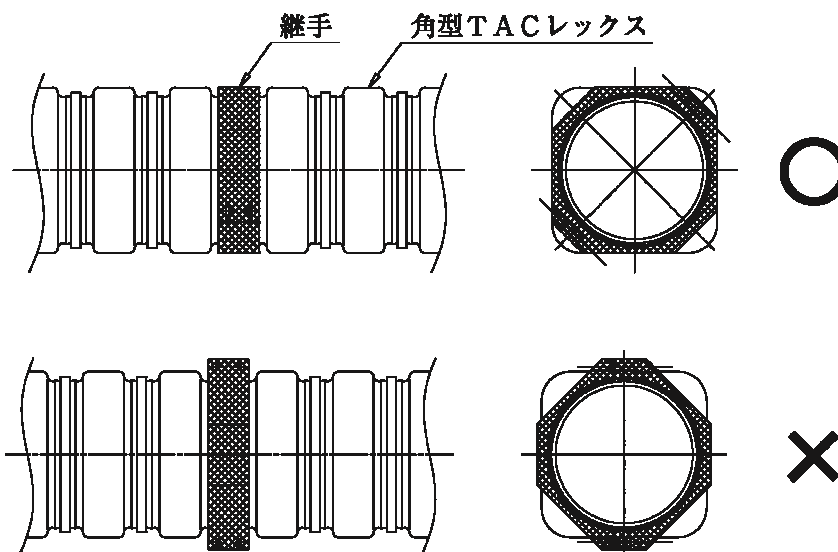
- 1) 継手 (パッキンと一体型) を角型TACレックスに押し込む要領で取り付けてください。



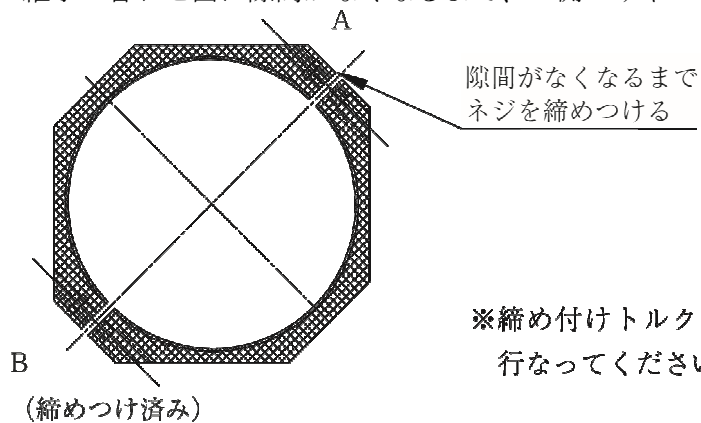
- 2) 角型TACレックスに取り付けた継手に角型TACレックスを押し込む（拌み合わせる）要領で接続してください。



- 3) 継手のネジを軽く締めて仮止めし、継手を回転させ、正確な位置に合わせてください。



- 4) 継手の合わせ面に隙間がなくなるまで、A側のみネジを締め付けてください。



※締め付けトルクは、 $2.94\text{N}\cdot\text{m}$ 以下で行なってください。

3. 異種管接続

3-1. CCVP・ECVPと接続する場合

差込CCVPアダプター接続手順

①管の切断

角型TACレックスの谷部を残すように、谷部の際をノコギリ等を用いて切断し、カッター等でバリを取り除いてください。

「2-2-1. 製品のカット方法」参照

②パッキン取り付け

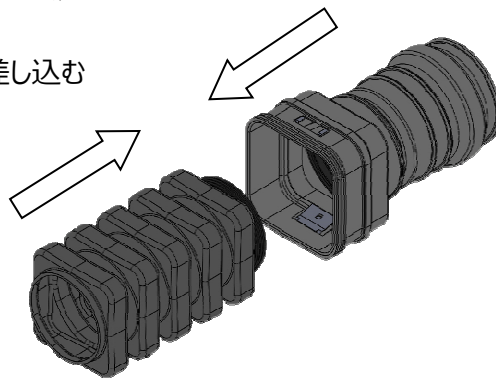


パッキンの向きに注意



③接続（角型TACレックス側）

奥まで差し込む



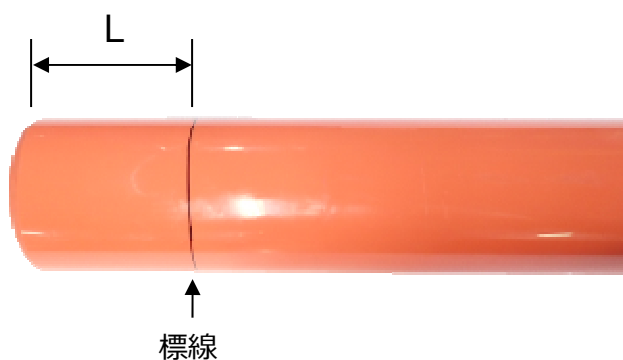
※管の差口を直接差し込まないで下さい。

④接続確認

抜けない事を確認

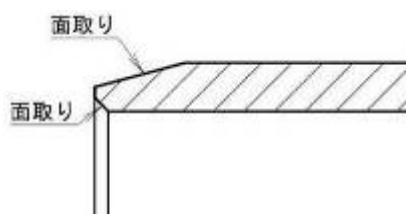


⑤ 標線記入

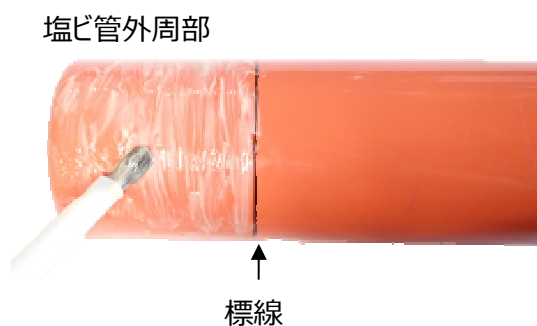


サイズ	L (mm)
φ 75	95
φ 100	120
φ 125	140
φ 130	140

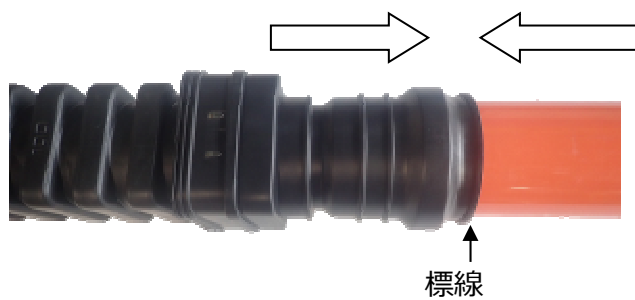
※塩ビ管の切断部は面取りを行って下さい。



⑥ 滑剤塗布



⑦ 接続完了



3-2. TACレックス・鋼管・塩ビ管と接続する場合

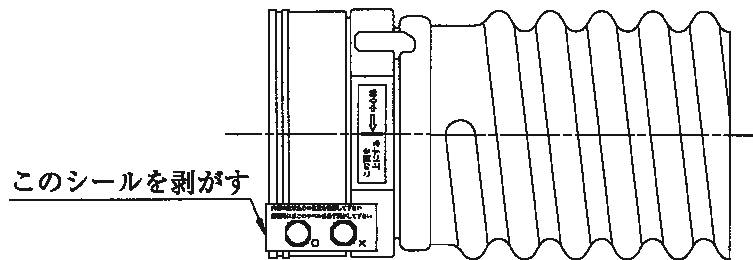
TACレックス形状に変換し、TACレックス用部品を使用して接続します。

A. 差口部で接続する場合（ $\phi 50 \sim \phi 100$ のみ）

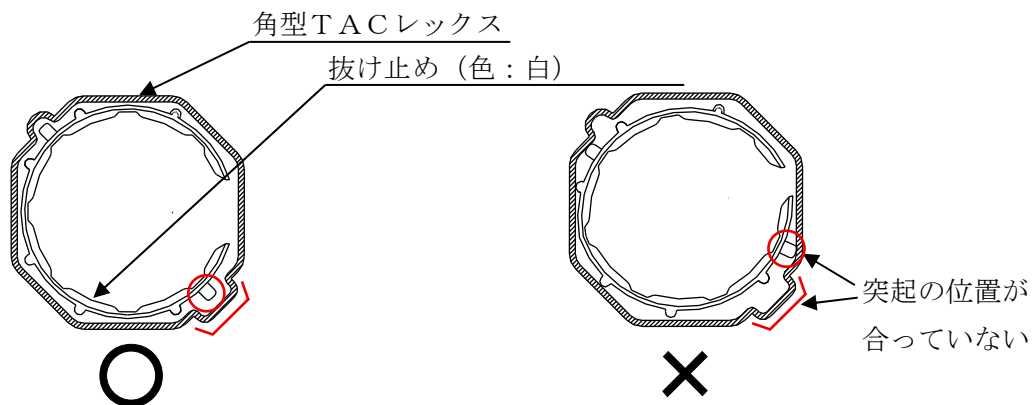
$\phi 130 \cdot 150$ は該当部品がありません。端部をカットして異種管用アダプタを使用ください。

異種管用アダプター接続手順

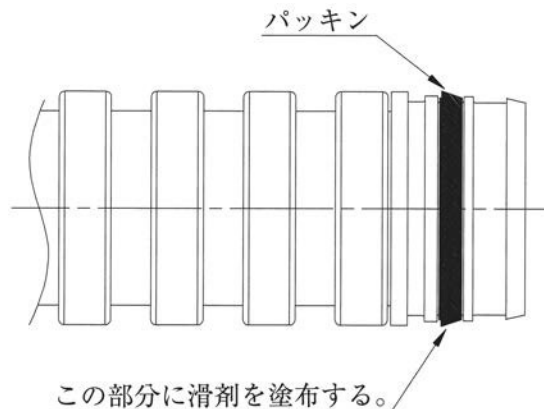
- 1) 異種管用アダプターのメス部内側の抜け止めを止めているシールを剥がしてください。



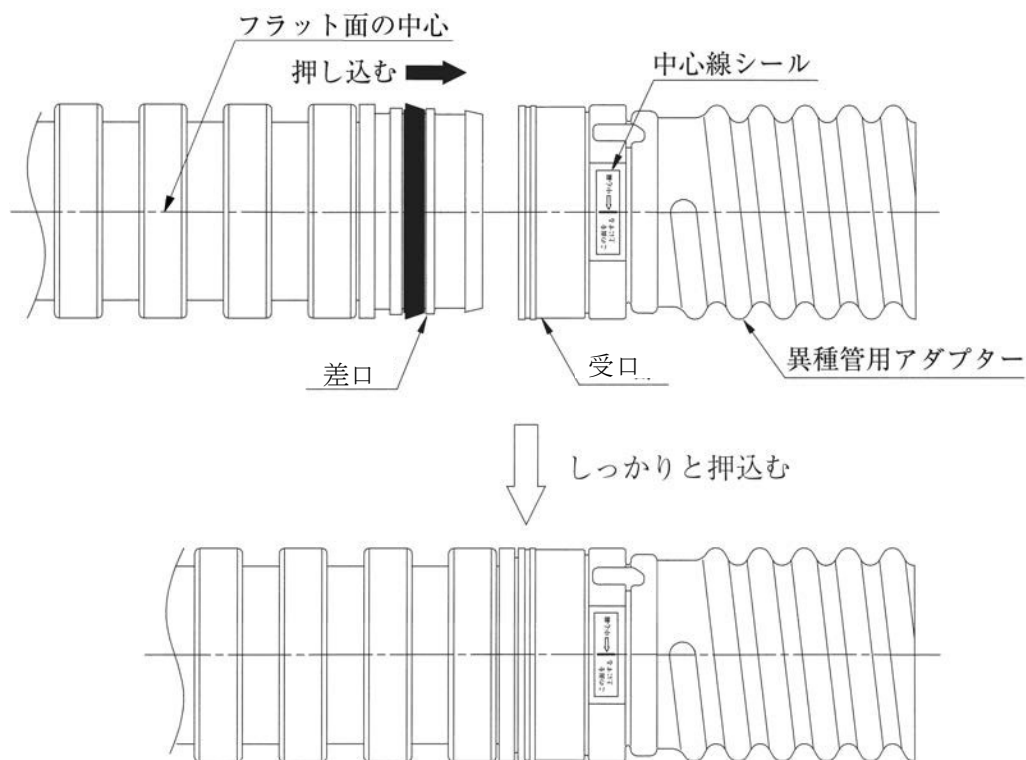
- 2) 異種管用アダプターのメス部内側の抜け止めがきちんと所定の位置に入っているかを確認してください。



- 3) 角型TACレックスの差口に付いているパッキンに滑剤を塗布してください。



- 4) パッキンに砂や埃がつかないように注意し、角型TACレックスのフラット面の中心と、異種管用アダプターの受口に貼っている中心線シールに合わせ、管の差口を異種管用アダプターの受口にしっかりと押込んでください。このとき、斜めになっていないかを確認してください。
(引張って抜けないことを確認してください)



- 5) 角型TACレックスを接続した異種管用アダプターと異種管は、TACレックス用の各種継手の接続手順に基づいて接続してください。

B. カット部で接続する場合

差込異種管アダプター※【φ50～φ100】の接続手順

※管中央部で異種管と接続するための部品です。

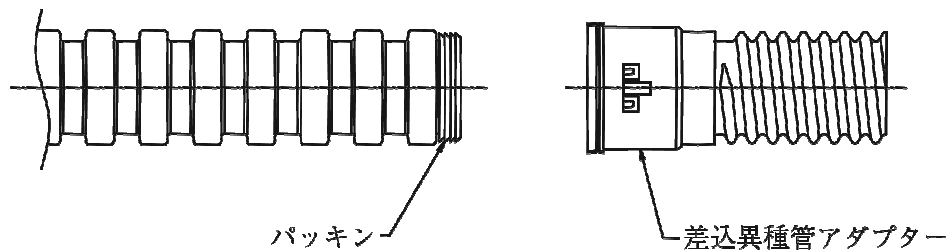
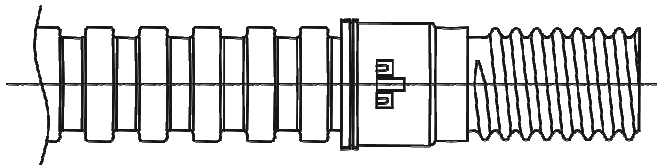
※異種管との接続は、TAC レックス用の異種管継手が必要です。

①管の切断

角型TACレックスの谷部を残すように、谷部の際をノコギリ等を用いて切断し、カッター等でバリを取り除いてください。

「2-2-1. 製品のカット方法」参照

②角型TACレックス谷部にパッキンを装着します。

③角型TACレックスを差込異種管アダプター本体に差込めなくなるまで差込み、引張って抜けないことを確認してください。

④角型TACレックスを接続した差込異種管アダプターと異種管は、TACレックス用の各種継手の接続手順に基づいて接続してください。

異種管アダプター※【φ130・φ150】の接続手順

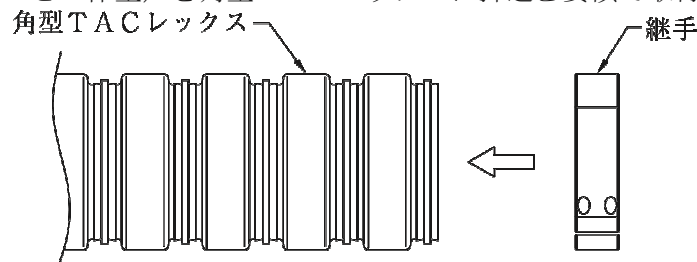
※差口と異種管を接続するために使用します。

①管の切断

角型TACレックスの谷部を残すように、谷部の際をノコギリ等を用いて切断し、カッター等でバリを取り除いてください。

「2-2-1. 製品のカット方法」参照

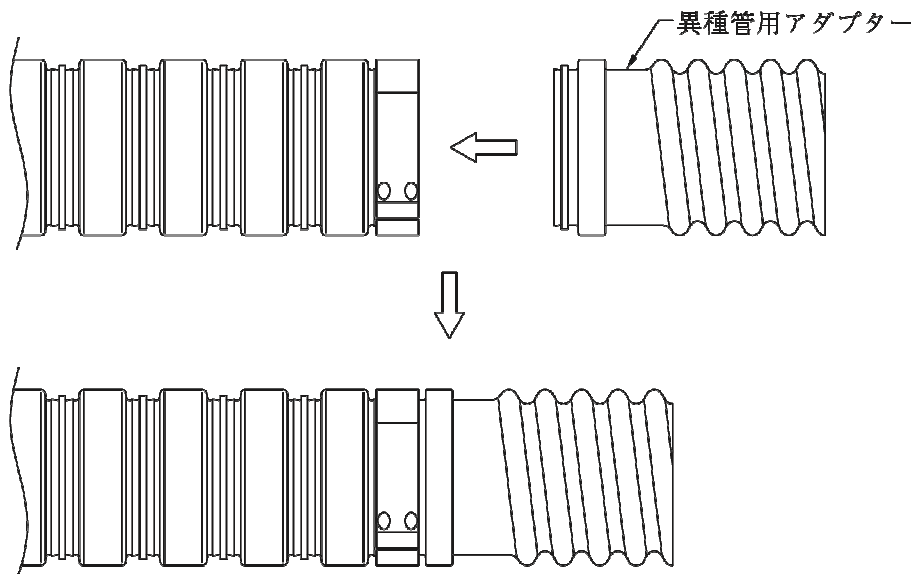
②継手（パッキンと一体型）を角型TACレックスに押込む要領で取付けてください。



③角型TACレックスに取付けた継手に異種管用アダプターを押込む要領で接続してください。

継手はネジを軽く締めて仮止めし、継手を回転させ、正確な位置に合わせてください。

「2-2-3. 差込フリー継手、継手を使用する場合」参照



TAC レックス形状に変換後は、TAC レックス用部品が使用できます。

TAC レックス・鋼管・塩ビ管などと接続可能です。

TAC レックスと接続

- ・ TAC レックス用直線接続材料NP型 ($\phi 30 \sim \phi 150$)
- ・ TAC レックス用直管継手N型 ($\phi 30 \sim \phi 100$)
- ・ TAC レックス用直線接続材料 ($\phi 30 \sim \phi 200$)

塩ビ管・鋼管と接続

- ・ TAC レックス用異種管接続材料NP型 ($\phi 30 \sim \phi 100$)
- ・ TAC レックス用異種管接続材料N型 ($\phi 125 \cdot \phi 150$)
- ・ TAC レックス用異種管接続材料 ($\phi 30 \sim \phi 200$)

詳しくはTAC レックスカタログを参照ください。

4. 施工動画紹介

<https://rootac.nagase.com/movie/>

■角型 TAC レックスの施工方法（2026 年版）



■ショート動画

「ハンドホール、特殊部、管と管の接続」



「管路の長さ調整」



「管のカット方法」



「差込オス継手の取付けと接続方法（φ50～φ150）」



「差込フリー継手で切管同士を接続（φ50～φ100）」



「継手（K-J）の接続方法（φ130、φ150）」

